

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。 学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>校区別人権・同和教育懇談会を、人権・同和教育参観日に行った。 PTA懇談会の内容を検討し、充実を図った。また、公民館との連携により、地区内懇談会の充実も行った。 学校だより、学級通信など、各種通信を定期的に発行した。また、ホームページの更新にも努めた。</p>							決算額
							実績値
							93%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>講演会等の行事への保護者の出席率が高まった。父親の出席者も増加した。 学校だよりを校区の住民に回覧し、閲覧していただいた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>家庭科、社会科の授業において、家庭教育に関する学習を推進する。 公民館と共催で、家庭教育に関する講座を開催する。 各種通信やホームページ等を利用し、情報発信に尽力する。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	24館	30館				
<b>事業の概要</b>							
<p>家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>【家庭教育講座】            実施公民館数 : 30館            講座実施回数 : 86回            延べ時間数 : 164時間            参加者数 : 2,530人(うち、男性1,064人、女性1,466人)</p>							決算額
							301千円
							実績値
							30館
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>実施公民館数が、平成22年度から6館増加し、目標の30館になった。            講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>【家庭教育講座】(予定)            実施公民館数 : 30館            講座実施回数 : 84回            延べ時間数 : 174時間</p>							予算額
							281千円
							目標値
							30館

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	2回	5回				
<b>事業の概要</b>							
<p>人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>会場 宇和島市立立間小学校 平成23年6月19日(日) 参加者:126名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん</p>						決算額	
						10千円	
						実績値	
						2回	
<p>会場 宇和島市立立間小学校 平成23年11月11日(金) 参加者:28名 「しあわせに生きる1番のカギ～差別する心からともに生きる心へ」 講師 宇和島市人研教育協議会副会長 浅田 淳 さん</p>						進捗状況	
						4	
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>講演内容は、児童に対しては生きる心の大切さを、絵本を使うなど分かりやすく話しをしていただき、助け合って生活していこうとする心情が培われた。また、保護者と教職員にも、自尊感情や無意識の感情の大切さや共生社会の重要性を訴えかけられた。人権について親子で考えるよい機会となった。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
<b>平成24年度予定</b>							
<p>人権尊重の意識を高め、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるために、人権問題講演会等を2回程度開催する。</p>						予算額	
						40千円	
						目標値	
						2回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課 [子育て支援]	100%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
通常保育の一部として行い、全ての保育所で実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							100%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
特になし							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
前年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	100%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>幼児一人一人の発達を促し、よりよい成長が図れるよう見守ったり援助するとともに、友達と一緒に遊ぶ中で相手の思いに気づき思いやりの気持ちを育ててきた。 一人一人の幼児理解とその特性を生かしながら心身ともに調和的な発達を図るとともに、自分の思いや考えなどを表現することができ、友達の思いにも気づき優しさや思いやりの気持ちをもつことができるよう援助してきた。 身近な地域の方などに、実態に沿ったお話をさせていただいたり、一緒に活動できるように努めた。 園行事・研修会に参加した際に、保護者に子育てや家庭生活の大切さを啓発する。</p>							決算額
							実績値
							100%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>幼児一人一人の発達に即した教育を行うための職員間での研修の持ち方や在り方 一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに、命の大切さについても知らせた。 幼児一人一人の思いや願いを受け止めながら発達に即した教育を行うことができた。 幼児の成長を伝えることで子育てに関心を示してもらっているようである。今後も家庭生活の大切さを啓発していきたい。 地域の方などにお話を聞いたり、活動することができなかった。 互いの思いを伝えたり、受け止めたりしながら活動する姿が見られるようになってきている。 幼児の発達に即した教育を行うことができた。自分の思いを伝え合い、決まりの大切さや自己抑制ができるよう援助する。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成24年度予定</b>							
<p>幼児理解と個々の発達や実態に即した指導の在り方を職員間で研修する場の充実 一人一人の幼児理解と、個々に合った指導の在り方の充実 一人一人の幼児理解と個にあった指導の在り方。 家族参観日・PTA研修会 職員間での幼児理解と個に応じた援助等を引き続き行う。 地域の方や身近な人たちと交流活動の充実 一人一人の幼児理解と指導法について研修を重ねていく。 一人一人の幼児理解と個にあった指導のあり方について今後も見直しを図りながら継続して実施</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>教員一人一人の能力・特性を生かした公務分掌の配置。 清掃、運動会、遠足、栽培活動などを1年生から6年生まで、3班に分けた縦割り班で行った。 全校児童を対象に「なかよしアンケート」を学期に1回計3回行った。 家庭教育のいろいろな場面で、折に触れ指導してきた。 道徳教育・人権同和教育を充実させ、差別的な言動には、毅然とした態度で指導を行った。</p>							決算額
							実績値
							97%
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>組織力を生かした指導が充実していた。 学年、性別を超えた助け合いや教え合いで、協力して活動に取り組むことができた。 児童からの情報収集ができ、いじめや不登校の事前防止に役立った。 男女平等の意識は高いが、お互いが協力して行事等に取り組む姿勢がやや弱い。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成24年度予定</b>							
<p>保育園、障害者施設、老人ホームなどとの交流活動を年間計画に組み込み、充実を図る。 縦割りの活動や、交流学习によるふれあいを継続させる。 児童一人一人に目を向けた教育相談の充実を図っていく。 道徳教育の充実を図る。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[1] 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	1回					
<b>事業の概要</b>							
<p>様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
日 時	平成23年8月9日(火)						決算額
会 場	宇和島市立コスモスホール三間						315千円
テ ー マ	「差別をなくする社会システムについて」						実績値
講 師	近畿大学教授 北口 末広 さん						1回
参加人数	536名						進捗状況
4							
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>教育・就労・生活実態などの格差が拡大していると言われる昨今、「教育」のもつ意義は、より大きくなっています。そこで、今年度は、近畿大学の北口末広教授を講師に招聘し、格差や差別の実態を明らかにしながら「人権教育とは何か」について学ぶため、「差別をなくす社会システム」をテーマに人権問題、同和問題を社会的システムの視点から捉えて講演いただき、加差別・被差別の関係を改善するには社会システムを変えていくことが重要と訴えられ、参加した536名の教職員にとって、今後、人権教育を推進していく上、大きな指針を得たと考える。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
<b>平成24年度予定</b>							
<p>元教師で大阪教育大学教職員教育研究センター研究協力員の土田光子(つちだみつこ)さんを招き、平成24年8月8日(水)に宇和島市立コスモスホール三間で開催する。「私を創ったもの～部落差別との出会い」と題して、父から虐待を受ける中、被差別部落の人々との出会いにより、支え合うこと、信じ合うことの大切さを知り、しんどい子どもたちの支えになろうと教師になり、同和地区にある中学校の担任として、家族のようにつながりあう学級づくりを目指し奮闘したその体験を熱く語る。</p>						予算額	
						302千円	
						目標値	
						1回	

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	教育総務課	100%		充実	継続	新規	
<b>事業の概要</b>							
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>園便り・クラス便り・アンケートや行事の感想等を通して、保護者への啓発・発信を行ってきた。園だより・クラスだより等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思い等発信してきた。保護者学習会や懇談会・園便り・クラス便りなどを通して、園の教育方針や指導への理解を図るとともに、幼児の育ちや保護者の思いを伝え合い、子育ての大切さや楽しさを共有したり啓発したりした。一人一人の個性や自主性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切できる幼児を育てる。家庭の協力を得ながら幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、主体的に取り組む幼児の育成を目指してきた。</p> <p>配慮を要する幼児には人員の確保や職員全体での意識統一を図り、入園希望があれば善処できるよう話し合う。</p> <p>園だより・クラスだより・保護者学習会・参観日・懇談会等を通して、保護者への啓発を行なった。保護者学習会・クラス懇談会・園だより・クラスだより等を通して、幼児の育ちや保護者の思いを話し合ったり発信したりして、子育ての大切さや楽しさを伝えた。</p>							決算額
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>子どもを取り巻く環境の変化を踏まえつつ、生きる力の基礎を身につける心の教育の充実に努める。保護者アンケート等を活用し、その中から、課題や問題点を探る。</p> <p>保護者との連携を深め、協力しながら幼児自身が自分で考え、自分で行動することができるよう生きる力の基礎を培っていく。自分で考え、自分で行動することができる、生きる力の基礎を身に付けることが大切であり、教育の充実を図る。</p> <p>園生活の中で様々な体験を通して、人とかかわる力や表現する力が育ってきている。</p> <p>実体験を通して生きる力の基礎を育むことの必要性を感じる。</p> <p>ゆとりある人員の確保や、職員に対しての研修の必要性を感じている。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成24年度予定</b>							
<p>家庭教育・子育ての在り方やサポート・連携の充実 家庭教育学習会の充実した内容の選択と取組 保護者の実状に適した学習会の内容の選択と連携の充実 園内研修・各研修会への参加 保護者との連携を通して一人一人の課題や問題点を探り、解決に努める。 さまざまな機会をつくり幼児の育ちや保護者の思いを理解する。 園内研修・家庭教育学習会の充実 家庭教育や子育てのあり方について連携の充実</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
特別支援教育推進事業	学校教育課	90%					
<b>事業の概要</b>							
<p>一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。          校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。          一人一人の良さを生かす教育を推進する。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>特別教育支援員1名を計画的に有効活用した。          個別の教育支援計画、個別の指導計画を作成し、実施した。          特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教育の校内研修の充実を図った。          ケース会議の開催、アンケートの実施。</p>							決算額
							実績値
							91%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。          支援員との協力のもと落ち着いた学習活動ができた。          教職員の研修が深まり、個に視点を充てた取り組みをすることができた。          PTA総会等を通じて、保護者に対する啓発を行うことができた。          発達障害について、研修を深めることができた。          対象児童がいない学級との温度差が若干見られた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成24年度予定</b>							
<p>個に応じた支援活動のさらなる充実          特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に務める。          特別支援学級と協力学級との連携を強化し、児童の居場所づくりに努める。          巡回教育相談等を活用して、特別な支援を必要とする児童に対する指導のあり方についての理解を深める。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[2] 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。            キャリア教育の推進。            発達段階に応じた職業意識を育てる。            自己有用感を育てる。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>園児とのふれあい、お年寄りとの交流の機会を設定することで、自己有用感を高めることができた。            個人差への対応のため補充学習にも力を入れた。            性別にとられない児童会活動、係・当番活動の充実を図った。            総合的な学習で、校区内体験を行ったり、産業・文化等について調べ学習を行い、校区に対する理解を深めることができた。            職業選択の自由の保障、将来の夢や希望を持ち、明るい気持ちで生活しようとする態度の育成に努めた。</p>							決算額
							実績値
							86%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>児童にとって、児童会活動・係活動・当番活動で働くことの大切さが理解できた。            活動を通して、男女の協力体制がさらに強まった。            地域を調査することによって、郷土を愛する心がより深まった。            進路についての児童の意識に変化が見られた。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>異なる年齢集団による活動の活性化と個別の補充学習をいっそう計画的に進めていく。            委員会活動や奉仕活動を通じて、働くことの尊さを実感させる。            社会見学、体験活動の充実を図る。            基礎学力の定着を図り、将来について考えさせる時間を充実させる。</p>							予算額
							目標値
100%							

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
<b>具体的施策</b>	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	教育総務課	87.5%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>女性だけの職場であるが、常に自分の役割を果たすように、協力して仕事に取り組んだ。また、PTA活動に積極的に取り組み、活動が浸透するよう努めた。</p> <p>保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。</p> <p>職員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。</p> <p>園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらった。</p> <p>職員が共通意識をもち、保護者が参加しやすいPTA活動を心掛けてきた。</p> <p>園に気軽に足を運んでもらえる行事やPTA活動に取り組んだ。</p> <p>園内研修を通して、共通意識をもって仕事を進めていった。</p> <p>職員会や園内研修で共通意識をもち、協力して仕事に取り組んだ。</p>							決算額
							実績値
							87.5%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を提供する。</p> <p>男女協同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。</p> <p>PTA活動の中で、男女参画にかかわる家庭教育に関する学習の機会を提供する。</p> <p>父親の参加者は多いが、子育てに対する理解には至っていない。</p> <p>PTA活動には、父親の参加も多く協力的である。</p> <p>PTA活動の中で男女参画に関する研修の場を提供する。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
<b>平成24年度予定</b>							
<p>子育て学習会や保護者学習会・PTA活動の充実</p> <p>幼児への適切な指導の為の研修会への参加と充実</p> <p>園内研修と幼児への適切な指導のための研修やPTA活動の充実</p> <p>園行事を中心としたPTA活動</p> <p>子育てに関する学習会やPTA活動の精選、参加しやすい工夫をする。</p> <p>PTAだよりへの男性の記事の投稿依頼</p> <p>家庭教育学習会や子育てサポートの内容の充実</p> <p>子育て学習会・保護者学習会・PTA活動の充実</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[3] 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%				
<b>事業の概要</b>							
<p>学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所による公務分掌を組織することができた。男女の特性を活かしたPTA活動を行うことができた。(PTA役員への女性の登用)互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りを努めた。地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組みした。</p>							決算額
							実績値
							88%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>適材適所の組織作りができ、スムーズな学校運営ができた。PTA活動を男女が協力して取り組む場面が多々見られた。男女平等は浸透している。教職員集団が団結し、共通理解のもと、協力した実践ができた。学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な手立てや方策を講じて、具体的な改善や問題解決に取り組んだ</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>全員で協力して取り組む組織体制作り。男女の特性を生かしたPTA活動への参画。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
具体的施策	[4] 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
教職員の資質・能力の向上推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	78%	100%				
<b>事業の概要</b>							
男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。							
<b>平成23年度実績</b>							
校内研修の質的充実を図るため、研修内容の多様化に努めた。研修会の参加報告をまめに行った。 全教員(校長を除く)が研究授業を行い、教員の資質の向上に努めた。 校内研修だけでなくいろいろな研修の機会を設けた。 南予教育事務所の指導訪問を実施した。							決算額
							実績値
							84%
							進捗状況
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
多様な校内研修を実施することにより、教員の実務能力を高め、校務に活かすことができた。 指導主事より具体的な指導を受けた。 教職員の意識の向上が見られた。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
教職員の能力、資質の向上のため、校内研修の実施内容の質を高める。 校外で、受講した研修内容を報告し、知識・意識の共有化を図る。							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
男女共同参画出前講座	企画情報課 [総務]	0回	5回				
<b>事業の概要</b>							
市民が男女共同参画を理解し、職場・学校・地域・家庭、その他の社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成が促進されることを目的として、各種団体等が主催する集会や研修会につき、講師派遣及び謝礼金などの支援を行うもの。							
<b>平成23年度実績</b>							
要望がなかったため実績なし							決算額
							0円
							実績値
							0回
							進捗状況
							1
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
<b>平成24年度予定</b>							
昨年度と同様に広報へ掲載して事業の周知を図り、団体等の実施する研修会等の支援を行う。							予算額
							20千円
							目標値
							2回

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[1] 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	39回	120回				
<b>事業の概要</b>							
<p>昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。</p> <p>このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題を始めとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成23年8月29日～平成24年3月25日 会場：20自治集会所(26自治会区) 参加者数：151名 内容：人権クイズ、録音素材による人権学習他 講師：公民館主事、教職員、その他</p> <p>であいふれあいみんなの人権講座：人権学習会 テーマ：一人ひとりの人権が大切にされる「温かいふるさとづくり」をめざして 会場：各自治会集会所又は公民館(14箇所) 会場：14自治集会所(14自治会区) 日時：平成23年10月3日～14日 いずれも19:30～21:00 参加者：176名 講師：三間町人権教育推進委員(34名：7班編成)</p>							決算額
							790千円
							実績値
							34回
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。</p> <p>であいふれあいみんなの人権講座：人権学習会 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう広めていくかが課題である。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>わになるう会：小地域別人権・同和教育懇談会 視聴覚教材を活用して同和問題など様々な人権について学習予定 予定期日：10月～3月(25自治会21会場で講座予定)</p> <p>であいふれあいみんなの人権講座：人権学習会 平成24年度は16行政区で実施予定</p>							予算額
							790千円
							目標値
							37回

平成22年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実		継続	新規
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	0講座/年	1講座/年				
事業の概要							
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて、男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために研修会を行う。							
平成23年度実績							
実績なし							決算額
							0千円
							実績値
							0講座
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
平成23年度、講座の実施まではいかなかったが、来年度は実施できるよう努力したい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成24年度予定							
生涯学習の視点から、一般市民の方を参集して「男女共同参画社会」について研修会を実施したい。							予算額
							100千円
							目標値
							1講座

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[2] 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	来場者数 1100人	5,000人	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
<b>平成23年度実績</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い』 <b>会場:</b> 南予文化会館 <b>期日:</b> 平成24年2月12日(日) <b>参加人数:</b> 300名 <b>内容:</b> 人権啓発資料展、太鼓演奏(城北中学校太鼓集団北龍、人権作文朗読(石応小学校児童)、人権ソング合唱(番城小学校児童) <b>講演:</b> 講師 池田 香代子(テーマ:100人の村、あなたもここに生きてます)							<b>決算額</b>
							<b>1,012千円</b>
<b>事業名:</b> 『人権をまもる市民の集い』 <b>会場:</b> 吉田公民館 <b>期日:</b> 平成24年3月9日(金) <b>参加人数:</b> 500名 <b>内容:</b> 人権啓発作品展、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会) <b>講演:</b> 講師 鎌田 實(テーマ:がんばらないけどあきらめない)							<b>実績値</b>
							<b>1400人</b>
<b>事業名:</b> 『三間町人権あったかコンサート』 <b>会場:</b> コスモスホール三間							<b>進捗状況</b>
							<b>4</b>
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い』 様々な人権啓発活動の取組の中で、市民に人権をより身近に感じてもらうと「人権を考える市民の集い」が、南予文化会館で開催されました。城北中学校生徒を中心とした太鼓集団による太鼓演奏、石応小学校児童の人権作文朗読、番城小学校児童の人権ソングに元気と感動をもらい、引き続き行われた作家の池田香代子さんによる講演においても、参加者それぞれの胸に人権の大切を伝えることができました。 ただし、参加者の確保が今後の課題であり、より多くの人々に参加していただくよう集いのあり方や参加者増加の方策に創意工夫が必要と考える。							
<b>事業名:</b> 『人権をまもる市民の集い』 、子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品展、バザー、手話コーラス、人権創作ダンス、人権啓発劇の発表、など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、市民に人権をより身近に感じてもらう、人権の大切さを伝えることができた。 また、講演では、地域医療に携わりながら傍ら、チェルノブイリ救援活動、イラクへの医療支援、東日本大震災の支援活動など多方面で活躍される医師の鎌田實さんを招聘して「頑張らないけどあきらめない」と題して講演があり、自身の生きざま、体験を通じてのちのちの大切さを訴えられた。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							<b>5</b>
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							<b>4</b>
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							<b>5</b>
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							<b>4</b>
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							<b>4</b>
<b>平成24年度予定</b>							
<b>事業名:</b> 『人権を考える市民の集い&人権あったかコンサート』 <b>期日:</b> 平成24年11月20日(火) <b>会場:</b> コスモスホール三間 <b>内容:</b> 人権講演会(立原早絵)、その他の内容については未定							<b>予算額</b>
<b>事業名:</b> 『人権をまもる町民の集い』 <b>期日:</b> 未定 <b>会場:</b> 未定 <b>内容:</b> 人権啓発作品展、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(連合婦人会吉田支部)、創作ダンス(吉田高等学校ダンス部)、人権啓発劇(遠見子ども会)、人権講演会(講師未定)							<b>2379千円</b>
							<b>目標値</b>
							<b>900人</b>

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
<b>推進方策</b>	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
<b>施策の方向</b>	3 地域における男女平等に関する学習の推進
<b>具体的施策</b>	[3] 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課						
<b>事業の概要</b>							
いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。							
<b>平成23年度実績</b>							
【地区公民館】学級・講座(実施回数) 家庭教育講座:80回 人権・同和教育講座:35回 婦人学級:35回 高齢者学級:45回 成人学級:3回 公民館講座:91回 【生涯学習センター】 1. 第19回生涯学習うわじまフェスティバル事業(参加人数) 夢「であい」魔SHOW～故郷へ～コンサート:597人 第9回宇和島名作劇場:251人 第14回宇和島文学歴史講座:162人 松山大学公開講座:45人 市民大学(2回):155人 2. 市民講座(実施回数・受講者数) 光る泥だんご作り講座:3回・153人 ヨーガ教室:4回・49人 切り絵教室:4回・32人 布で作るお正月飾り講座:4回・76人 クリスマスリース講座:3回・32人 パソコン講座:24回・215人							決算額
							3,542千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらずできるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
【地区公民館】学級・講座(実施予定) 家庭教育講座:112回 人権・同和教育講座:61回 女性学級:43回 高齢者学級:68回 成人学級:36回 公民館講座:120回 【生涯学習センター】 1. 第20回生涯学習うわじまフェスティバル事業(実施予定) 市民大学4回 第10回宇和島名作劇場 第15回宇和島文学歴史講座 宇和島芸術祭 青少年人材育成事業 2. 市民講座(実施予定) 光る泥だんごづくり講座:3回 切り絵講座:4回 布でつくるお正月飾り講座:4回 クリスマスリース講座:2回 エコクラフト講座:2回 パソコン講座:30回							予算額
							4,198千円
							目標値
							-

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向				
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規		
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課 [総務]			充実		継続		新規
<b>事業の概要</b>								
<p>男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報誌などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。平成23年度においては、市主催、教育委員会・女性団体連絡協議会との共催により「男女共同参画推進大会」を開催する。</p>								
<b>平成23年度実績</b>								
<p>【男女共同参画推進大会】 日時:平成23年6月25日(土)14:00～15:30 場所:南予文化会館 内容:講演会「仕事も家庭も一所懸命～出会いの人生から学んだこと～」講師 菊地幸夫 氏 ロビー展(男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,健康に関するパネル展)</p>							決算額	
							814千円	
							実績値	
							左記参照	
							進捗状況	
								4
<b>事業に対する評価・課題等</b>								
<p>「男女共同参画推進大会」において、身近なテーマに視点を置いた講演や啓発用DVDの上映を行うことにより、実生活と男女共同参画との関わりについて、意識が深められたと思われる。また、家族や地域への感謝の気持ちなどを込めた標語・川柳作品を大会に先立って募集し、優秀作品について表彰等を行なった。</p>								
<b>男女共同参画の視点での評価</b>								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5	
<b>平成24年度予定</b>								
<p>【男女共同参画講演会】 日時:平成24年7月1日(日)13:30～15:00 場所:南予文化会館 内容:講演会 講師 一龍齋春水 氏 ロビー展 (男女共同参画啓発パネル展,人権に関するパネル展,健康に関するパネル展,消費生活に関するパネル展)</p>							予算額	
							924千円	
							目標値	

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 . 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
ICTメディア・リテラシーの推進	企画情報課 [総務]						
事業の概要							
実施していない							
平成23年度実績							
							決算額
							実績値
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成24年度予定							
							予算額
							目標値

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

<b>基本目標</b>	<b>男女がともに認め合う人づくり</b>
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進
施策の方向	3 地域における男女平等に関する学習の推進
具体的施策	[4] メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画での方向			
		現状値(H22)	目標値(H24)	充実	継続	新規	
生きる力を育む教育活動推進事業 (事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	80%	100%	充実		継続	新規
<b>事業の概要</b>							
<p>それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。            いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。            メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。</p>							
<b>平成23年度実績</b>							
<p>研修やインターネット・書籍等で得た情報を指導に活かした。            ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施。            総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。            情報主任が、研修職員会でメディア・リテラシーの研修を行った。</p>							決算額
							実績値
							85%
							進捗状況
							4
<b>事業に対する評価・課題等</b>							
<p>メディア・リテラシーに対する、教職員の意識が高まった。            総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、インターネットを通じて情報収集ができるようになった。</p>							
<b>男女共同参画の視点での評価</b>							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
<b>平成24年度予定</b>							
<p>情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話)。            学校ホームページの充実を図る。            情報機器の活用方法の研修。</p>							予算額
							目標値
							100%

平成23年度実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-